

リアック 1 5 0

- ☐系統1液焼付型アクリルウレタン樹脂塗料
- ☐特長一般的な焼付型アクリル塗料に比べ、耐候性・耐薬品性に優れています。
有害なホルムアルデヒドを含有しません。
塗装作業性に優れています。
- ☐用途配電盤、弱電・重電機器類、等
- ☐塗料性状

色	ホワイト
粘 度 (K u / 2 5℃)	6 2 ± 5
密 度 (2 3℃)	1. 2 5 ± 0. 0 5
加 熱 残 分 (%)	6 5 ± 3
引 火 点	1 8℃
発 火 点	3 7 0℃
危 険 物 表 示	第1石油類 (非水溶性) 合成樹脂エナメル塗料
有 機 溶 剤 区 分	第2種有機溶剤等
有 害 物 表 示	エチルベンゼン
医 薬 用 外 劇 物	該 当 な し

- ☐荷姿各色 入 目 1 6 k g、4 k g
- ☐塗装基準混 合 : 使用前によくかき混ぜ、均一にしてください。

塗 装 方 法	エアスプレー	静 電 塗 装
希 釈 剤	リアック 4 0 0 7 シンナー	リアック No. 410 シンナー
希 釈 割 合 (w t %)	2 5 ～ 3 5	2 5 ～ 3 5
塗 装 粘 度 (2 0℃)	1 2 ～ 1 4 秒	1 2 ～ 1 4 秒
セ ッ テ ィ ン グ	1 0 分	1 0 分
焼 付 条 件 (物 温)	1 6 0℃× 2 0 分	1 6 0℃× 2 0 分
標 準 膜 厚 (μ m)	3 0 ～ 4 0	3 0 ～ 4 0

*膜厚は標準的数値です。被塗物の形状・素材の状態・希釈率及び測定機器・測定方法により幅を生じ、増減します。

- ☐注 意 事 項
1. 塗装ならびに塗料取扱い時は、十分換気を行ない火気厳禁です。

2. 製品安全に関する詳細な内容が必要な場合には、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

3. 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生ずることがありますので、塗装を避けて下さい。

4. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けて下さい。

5. 3分つや有り未満のつや調整品は条件によって性能が低下する場合があります。
とくに1分つや有り未満の全つや消しについては事前にお問い合わせください。

リアック150 ホワイト

□ 成 分 表

アクリル系樹脂ワニス	42.4	(%)
架橋剤	16.7	(%)
着色顔料	27.2	(%)
溶剤	6.3	(%)
添加剤	1.7	(%)
合 計	100.0	(%)

□ 試験板作成条件

素 材	SPC鋼板 0.8×70×200mm
前 処 理	リン酸亜鉛処理
上 塗	リアック150 ホワイト
焼 付 条 件	160℃×20分
膜 厚	30～40μm

□ 性 能 表

試験項目	規 格	性 能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくで一様になること。	合 格
付 着 性	1mm幅 クロスカット法 100個基盤目による塗膜のはがれ抵抗性	100/100
引 っ か き 硬 度	鉛筆法による鉛筆硬度	H
鏡 面 光 沢 度	鏡面光沢度測定による60度鏡面反射率(%)	9 5
耐 お も り 落 下 性	デュポン式衝撃変形試験器による塗膜衝撃抵抗性 (半径6.35mm×500g×30cm)	合 格
耐 水 性	水道水40℃に240時間浸漬後、塗膜に異常がないこと。	合 格
耐 湿 性	温度50±1℃、相対湿度98%以上の連続結露法回転式で240時間 湿潤しても塗膜に異常がないこと。	合 格
耐中性塩水噴霧性	塩水噴霧試験装置による、塩水による塗膜の錆抵抗性 120時間	合 格
促 進 耐 候 性	サンシャインカーボンアーク灯にて塗膜の割れ、はがれ、膨れがなく、光沢 保持率は80%以上で、色差が3.0以内である塗膜の耐候性 1000時間	合 格

※記載データ、数値等は、信頼されると考えられる内外の技術情報並びに最新の注意を払って行った試験に基づくものであり、保証値ではありません。
従って、実際の使用結果並びに特許上の権利を保障するものではありません。なお、ご使用に際しましては、事前に十分な検討を実施の上ご利用下さい
ますようお願い申し上げます。また、記載データ、数値等は製品の改良により、予告無しに変更または更新することがあり、これらの変更・更新・改良
により生じた如何なる損害に関しても、当社は責任を負わないこととします。

リアック150

□ 焼付温度マップ

塗料名称	リアック150 各色
塗装粘度	12~14秒/20℃
標準膜厚	30~40μm
セッティング	10分
標準焼付条件	160℃×20分

